



文責 校長 山本 智文

## あけましておめでとうございます 今年もよろしくおねがいします



保護者の皆様、地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年中は本校の教育に温かいご支援とご協力をいただきましたことを感謝し、お礼申し上げます。

ご承知のように、今年「辰年」です。辰は、十二支の中では5番目に数えられ、時刻でいえば午前7時から9時までの2時間、方角でいえば東南東にあたります。また、今年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。干支は、十干（じっかん）と十二支の組み合わせで全部で60通りですが、その41番目になります。そして甲は、甲乙で始まる十干の1番目で、植物の成長にたとえると、「種子はまだ固い殻に覆われた状態」を意味します。さて、辰とは竜（龍）のことですが、十二支では唯一、空想上の生き物です。他はすべて実在の生き物なのに、なぜ架空の竜が十二支に選ばれたのかというと、諸説があり、はっきりとした理由はわかりません。十二支は、もともとは古代中国で生み出されたもので、中国の多くの王朝において竜は皇帝の権威の象徴であり、民衆が崇めたてまつる対象でした。架空の存在とはいえ、中国の人々にとって竜は実在する生き物と同等、いやそれ以上の存在だったといえるかもしれません。その竜に対して、みなさんはどのようなイメージを持っているでしょうか。架空の生き物だけに、ミステリアスな部分も多く、人によって捉え方はさまざまだと思いますが、一般的には「荒々しい」「力強い」「勇ましい」、あるいは「神秘的」といったイメージだと思います。竜にまつわる故事成語やことわざなどもたくさんありますが、「竜頭蛇尾（りゅうとうだび）」とは、初めは勢いがあるが、終わりがふるわないことのたとえです。また、「画竜点睛（がりょうてんせい）を欠く」とは、最後の肝心の部分が抜けているために不完全な状態にあることをいいます。今年の抱負に重ねていえば、竜頭蛇尾に終わることなく、また画竜点睛を欠くことなく、竜が水や雲、翼を得るように、持てる力を存分に発揮して、飛躍する1年にしていきたいものです。

1月9日から、3学期が始まります。3学期は、「次の学年の0学期」ともいえます。子どもたち一人一人が新たな目標に向かって持てる力を存分に発揮して飛躍する1年にしていけるよう全教職員で子どもたちの指導・支援にあたっていきます。昨年に引き続きまして、どうぞよろしくお願いいたします。

### 日新日々新（ひあらたに ひびあらたなり）

「前日までの反省をもとに毎日新たな気持ちで行動し、修養するように心がけて、昨日よりも今日、今日よりも明日と、日々進歩し、成長していきたいものです。」



## 「認めること」でエネルギーをふりそそぐ②

〈12月号の続きです〉

では、次に、「テストの結果」や「作品のでき」がよかった時、どのような褒め方があるのでしょうか？そのバリエーションを見ていきましょう。

### ◆NG会話◆

教師「山本君、90点だね！すごいね〜！」



### ◇OK会話

教師「山本くん、毎日、よくがんばったね。」（プロセスを褒める）

教師「山本くん、計算問題を解くスピードがあがったね。」（変化を具体的に褒める）

教師「山本くんのていねいな文字は、とても気持ちがいいね。」（本人も気が付いていないところを褒める）

教師「山本くん、今週の目標である『見直しをしっかりしよう』がしっかりとやれていたね。」（目標を達成していたことを認める）

教師「山本くん、この“はらい”がとてもよくできているね。よく練習してきたね。」（本人が褒めてほしいところを褒める）

教師「山本くんの学級新聞は、見出しがピカイチだね。すごく目をひきつけるよ。よく工夫してきたね。」（本人ならではの創意工夫を褒める）

教師「山本くん、あの時、時間を教えてくれてありがとう。危うく忘れるところだったから、助かったよ。」（子ども自身の行動が人にどんな価値をもたらしたのか、その影響を素直に伝える）

「褒めること」は、「認めること」です。ワンパターンではなく、多様な認め方の選択肢の引き出しを持ち、表情と言葉に出して、意図的に活用してみることに挑戦したいものです。きっと子どもたちの瞳に、大きな変化が訪れるはずですよ。

このような言葉がけは、教師や大人の側も、必然的に子どもたちの言葉に耳を傾け、意識的によく観察するようになるという効果をもたらします。

「プラスのエネルギーを与えるアプローチ」とは、褒める側、褒められる側双方に好影響を与えていくものだと考えています。

生き物が大きく育つために欠かせない、降り注ぐ太陽のような褒め方でプラスのエネルギーを与え、子どもたちの自己肯定感を高めていきたいです。

### 👉「自己肯定感」とは..

自己肯定感とは、その言葉の通り「ありのままの自分を肯定する感覚」のことです。他者と比較することなく、自分自身が「今の自分」を認め尊重することで生まれる感覚であり、物事を前に進めるための大きな原動力となります。





## 絵本の読み聞かせ！

本校では、月に1~2回、木曜日に8時10分から約15分間「絵本の読み聞かせ」を行っています。蒲刈町・下蒲刈町の読み聞かせボランティアの方々に来校していただき、子どもたちはさまざまな絵本と出会わせてもらっています。



「子どもの教育に良い」「心が豊かになる」といわれる絵本の読み聞かせ。絵本には、単純な繰り返しのものから、起承転結がハッキリしたストーリー性のあるものまでさまざまな種類があります。「もしかして次は…？」



「きっと〇〇だな。」と続きを考えることで、豊かな想像力が育つといえるでしょう。このような力は、日常生活においても必要不可欠です。しかし、実際にはどのような効果があるのか疑問を持っている人も多いのではないのでしょうか。ここで、読み聞かせによる効果についていくつか挙げてみます。

- 👉 絵本を読み聞かせることで、今まで知らなかった言葉を知ることができます。イラストが添えられているため、より言葉への理解が深まるのも絵本の大きな特徴のひとつです。
- 👉 たくさんの絵本を読むことで、語彙力が高まります。また、ストーリー性のある絵本を楽しむためには文章への理解が欠かせません。絵本の読み聞かせは、今後の読解力の基礎となるでしょう。
- 👉 登場人物の気持ちを想像して感情が豊かになる絵本には、メッセージ性が込められているものが多くあります。子どもや動物が主役となっていることが多く、登場人物の気持ちを想像しやすいのも絵本の大きな特徴です。
- 👉 登場人物の気持ちを想像・共感することで、感情が豊かになるといえるでしょう。そこで感じた経験は、相手の気持ちを思いやる力につながっていきます。
- 👉 「絵を見る」「文字を見る」「読んでいる人の声を聞く」ということが同時に行われる絵本の読み聞かせは、子どもの脳を刺激して、多くの知識を積み上げる効果があるといわれています。わずかな時間ではありますが、昨年も子どもたちは、読み聞かせを通して多くの絵本と出会ってきました。そして、絵本の世界に引き込まれていく子どもたちでした。今年は、12月14日の読み聞かせが最後でした。今年も引き続き、子どもたちの成長を願い、取組を継続していきます。

## 昆虫イラスト展

下蒲刈町三之瀬にある「昆虫の家(頑愚庵)<sup>がんぐあん</sup>」が、創設25周年を迎えるにあたり、現在「昆虫イラスト展」を開催しています。これに係り、11月に蘭島文化振興財団の方が来校され、「蒲刈小学校の児童の皆さんにぜひ昆虫のイラストを描いていただきたい。描かれたイラストは昆虫の家に展示します。」との依頼を受け、全校児童が作品作りに取り組みました。展示期間は令和5年12月13日(水)～令和6年2月18日(日)です。子どもたちはスラスト展のはがきを持って帰っていますので、来館の際にはご持参しご活用ください。ぜひ、蒲刈小学校の子どもたちの描いた昆虫の世界を楽しんでご鑑賞ください。なお、子どもたち全員の昆虫イラストは、瀬戸内産交バスの車内に掲示されています。(休館日は、火曜日、12/29～1/1、ただし、1/2・3は臨時開館。)



## 令和5年度第2学期終業式

今日で2学期が終わります。9月1日(金)にスタートし、77日間、みんなで生活してきました。私は、9月1日の始業式のときに、こんなお話をしました。(省略)

この2学期は、日々の授業に加えて、委員会活動やクラブ活動、全校での学習発表会、5・6年生の野外活動・陸上記録会、各学年の校外学習、ふるさと学習など、多くの活動や行事がありました。さて、みなさんは、これらの活動や行事をやってみて、今、どのような感想を持っていますか？

「面白かった」、「大変だった」といろいろとあると思います。特に、「苦手なことをやること」や「みんなで協力してやること」は辛かったり、大変だったりしたと思います。でも、辛いけど、苦しいけど、面倒くさいけど、何かをやったことは、これからの自分の成長にとってすごく大切なことなのです。そして、これらの活動や行事は、自分の将来を考えることや社会を知ること、そして、協力することやルールを守ることといった意識を高める上でとても貴重な経験になるのです。(省略)

ここで、私からみて、「蒲刈小の子どもたちが2学期に頑張ったな」と思うことを、たくさんあるのですが、特に印象に残ったことを二つお話します。

第一に、「5・6年生の野外活動」です。一般の家庭に泊まらせていただき、いろいろな体験をさせてもらいました。蒲刈小学校の子どもたちは、家族の一員のようにすぐになじんでお家の方々と楽しく活動している姿が私にはとても印象に残りました。3日目の「お別れの式」の時、別れるのがさみしくて涙を流している人がいました。とても心のやさしい子だなと、私まで涙が出そうになりました。

第二に、11月の学習発表会です。(省略)1・2年生による「かさこじぞう」は、11人が一つになって一生懸命に役を演じ切ろうとする姿がとてもすばらしかったです。演技の途中に入る歌声がとてもきれいでした。何ととっても、当日の演技が最高でした。3・4年生の「サーカスのライオン」は、9人の子どもたちが、みんなのライオンに対する気持ちと、ライオンがいなくなってしまった切なさや、悲しさが静かに伝わってきて、見ていて心が熱くなりました。みんなの演じた表現はとても素晴らしいものでした。5・6年生の「落語」は、私の経験上、学習発表会で演じた学校はありませんでした。会場からの「笑い声」は、演技のすばらしさを表したものです。14名の子どもたちが演じた表現は、蒲刈小学校の学習発表会に新たな1ページを加えてくれました。全校児童の演じた「和太鼓」「合唱・校歌斉唱」は、人数が少ないにも関わらず、みんなが一つになった瞬間、パワーを感じました。(省略)

以上、私なりに思ったこと、感じたことをお話しました。(省略)



## 令和5年度校内持久走大会

「令和5年度校内持久走大会」を次の通り実施します。ねらいは、「自己の記録向上をめざして最後まで走りぬくことにより、困難に耐える強い意志を養い、健康の増進と体力づくりを実践する。」です。また、走路安全員の方々には、笛・横断旗などで自動車を誘導し、走路確保のご協力をお願いします。寒い中での大会になることを想定していますが、寒さに負けず元気に精一杯走路を駆け抜けていく子どもたちに温かいご声援をよろしくをお願いします。

### 校内持久走大会について

日時 令和6年1月25日(木)3・4校時  
(10:30~11:45)

※雨天時 令和6年2月2日(金)に延期

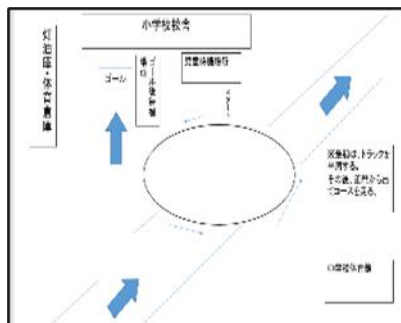
距離 1・2年生 1000m(コースを2周)

3・4年生 1500m(コースを3周)

5・6年生 2000m(コースを4周)

○1月15日(月)13:30から「持久走前内科検診」を行います。

○お時間のある方は、児童の応援をよろしくをお願いします。



## とんどまつり in しもかがり



下蒲刈地区自治会連合会主催の「とんどまつり」が開催されますのでご案内します。次の内容等で行われますので、奮ってご参加ください。

日時 令和6年1月28日(日)10:00~

場所 三之瀬地区・・・(新)丸谷港  
下島地区・・・大津会館グランド  
大地蔵地区・・・大地蔵集会所横広場

問合せ 下蒲刈市民センター TEL 65-2311

※天候不順等で中止の場合は、当日、町内放送を行います。

👉下蒲刈保育所園児, 蒲刈小学校児童, 蒲刈中学校生徒には、「竹つきおもち」が無料で配付されます。当日、「竹つきお餅引換券(無料)」を持って、会場で「おもち」と引き換えてください。  
※天候不順等による中止の場合は、「おもちとの引き換え」も中止となります。



### ■「とんど」とは

お正月のしめ縄やお飾り等を小正月に焼いて、1年の無病息災を願う行事です。書初めや絵をいっしょに燃やすと、習字や絵をかくのが上達するといわれています。